5月18日 水曜日 17日発行
昭和30年西暦1955年

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話（代表）京橋（56）8646
（直通）販売（〃）0437 広告（〃）3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝（43）1163番
東京 振替貯金口座 170071番

THE NAIGAI TIMES
第3099號 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認第232號）
（中華郵政台字第637號執照登記為第2類新聞紙類・内政内誌証報係内台誌字第0136號）

あすの暦 5月18日・水
旧 閏3月27日
月齢 25.6
日出 前 4.35
日入 後 6.40
月出 前 1.38
月入 後 2.38
満潮 前 1.50 後 2.40
干潮 前 8.40 後 9.00
（中潮）

天気予報
今晩 風弱く曇、所により一時雨
明日 北のち南の風曇時々晴 海沿いでは所により一時霧雨

"修学旅行列車"が衝突

東海道線で米軍トラックと

廿三名が重軽傷

客車も六両を全半焼

【静岡発】十七日午前二時十九分東海道線東田子の浦―原間の植田踏切り（第三種）に米軍フジ・ミドル・キャンプA隊所属ペイント廿五トン積トレーラー・トラック（運転手ポール・ミリエン軍曹）がとまっているのを京都発東京行団体臨時三一三八列車（機関士＝戸塚秋太郎）が八十メートル手前で発見、非常制動をかけたが間に合わず衝突、トレーラーは大破、列車の第三両目の客車に引火したので直ちに旅客の退避誘導を行うとともに付近の消防団、駅員などの応援を得て消火と客車の分離作業を行ったが前部一両から五両までを全焼、六両目を半焼し四時ごろ鎮火した

修学旅行帰りの東京工学院高校（東京都新宿区角筈二の九三）の教諭、生徒二百八十一名のうち重傷二名、軽傷六名、かすり傷程度のものを含め廿三名を出した、重傷の二名は市立沼津病院に収容、軽傷者六名は付近の医院で手当をした、このため架線約百五十メートル、枕木約二百本を焼失、レール約百メートルが曲り、同線は上下線とも不通となった、沼津、静岡両駅から救援列車が現場に到着、復旧作業に当っているが下り線の復旧は午前八時復旧、上り線は午後四時ごろになる見込み、国鉄調べによる重軽傷者の氏名つぎのとおり

▽重傷＝工学院高校教諭今井茂勝（五五）同生徒鈴木実（一七）▽軽傷＝同生徒近藤利（一七）同桜井弘（一七）同荒川勝利（一七）同平井道郎（一七）同石田平央（一七）同国京泰昌（一七）ほか擦過傷十五名

写真は燃える列車（電送）

停車中のトラックに突っ込む

スパーク引火から火炎

【静岡発】静岡県警察本部、静岡鉄道公安官らは戸塚秋太郎機関士、渡辺久司助手（いずれも浜松機関区）水井武彦車掌、ミドル・キャンプ第三海兵師団第三技術部ペリー・H・パール一等兵、チャールス・ケアーマンス中尉ら関係者を対策本部に呼んで原因を調べているが、米軍トラックは横浜から御殿場キャンプに向う途中御殿場市三本松付近で道に迷い沼津にもどるため植田地点まできたが道路が百廿度の急カーブだったのと、大型トレーラー・トラックのため同踏切でカーブが一度に切れず、二、三回前後進しているところへ後、東田子の浦駅をストップした直後、七十キロの速度で進行してきた上り列車にひっかけられ、そのさいトラックに積んであったペイントが架線のスパークした火花や急ブレーキの加熱などで引火したらしい

なお、米軍トラックの乗員は衝突前に車から降りていたため負傷者は一名もなかった

大半は修学旅行生

この列車には前記東京工学院生徒のほか川崎市渡田中（百八十三名）兵庫県竜野高校（二百卅九名）文華女子高校（七十六名）常盤学院（五十名）川越商業高（二百七十名）など乗客の大半が修学旅行の生徒であった

九州でも30名重傷

修学旅行バス 火を噴く

【福岡発】十七日午前七時ごろ福岡県大川市口小学校六年生百六十二名が貸切り堀川バス（福岡県八女郡黒木町社長堀川久助）三台に分乗、雲仙への修学旅行のため柳川駅に向う途中、柳川市昭代町古賀付近で最前列のバスがエンジンストップのため停車してガソリンを注入中、突然ガソリンに引火、火はたちまちバスを包み、乗車中の小学生五十四名中卅名が火傷で重軽傷を負い、付近の四病院に分散収容された

なおその後の調査によれば、重傷の生徒の中には危篤のものもでている（人数不明）なお原因はエンジンの過熱とみられ、満尻運転手はふだん同車に乗っておらず、過熱に気がつかなかったらしい

事故防止対策委

閣議 内閣に設置を決定

十七日の定例閣議は午前九時から首相官邸で鳩山首相以下全閣僚出席して開かれた、まず三木運輸相から紫雲丸沈没事故現場の視察状況と国鉄総裁人事問題について報告したのち、最近の交通事故頻発に鑑み、内閣に交通事故防止対策委員会（仮称）を設けることとした、ついで別項のように加瀬俊一氏を国連大使に、西春彦氏を駐英大使にそれぞれ任命することを決定、前日の次官会議で内定した法律案、政令など一般案件を決定して同十時廿分散会した

西駐英大使発令

加瀬国連は廿三日に

政府は十七日の閣議で西春彦駐豪大使を駐英大使に、外務省参与加瀬俊一氏を国連大使にそれぞれ任命することに決定した、西氏は十七日発令、また加瀬氏は廿三日認証式を行ったうえ発令する

西春彦氏　加瀬俊一氏

輸出振興、失業対策

井堀氏（右社） 政府の総合策質す

衆院予算委員会

十七日の衆院予算委員会は午前十時五十分開会、十九、廿日両日行われる公聴会の公述人の顔ぶれ（別項）を決定したのち一般質問を続行

井堀繁雄氏（右社）日本の産業構造では世界市場で競争に勝つことは困難だ、設備の近代化と生産性を向上することが必要だが政府は輸出製品の品質改善と世界市場の改革についてどのような案を持っているか

石橋通産相 輸出振興には通商企業対策、石炭など基幹産業のコスト引下げ、重機械の国産化などが必要だ、市場開拓についてはいま国際見本市を開いているが、海外でも大いにやりたい

井堀氏 それだけでは不十分だ、なにか斬新的な案はないか

通産相 別に飛躍的なものはないが

井堀氏 アメリカはもちろんフランス、イギリス、西独などでは苦しい財政の中で積極的な貿易政策をとっているが、日本では熱意が足らない

高碕経審長官 輸出産業振興には合理化と設備の近代化が必要だが政府としては特に中小企業者の製品輸出に期待している

井堀氏 政府の総合六ヵ年計画によると労働人口は総人口の増加率と同様だが、私は労働人口の増加率が高いと思うがどうか

高碕長官 十四歳以上の労働人口を卅五年には六十五％とみている現在は五十五％だが、これを六十七％ぐらいにしたいが、そうすると約四千三百万人になると思う、これを第一次産業で千七百万、第二次産業で千七十八万、第三次産業で千四百八十九万人という内訳になる

井堀氏 政府は完全失業者を卅五年には四十三万人（現在は六十五万人）に見込んでいるが、どういう根拠に基くか

高碕長官 就業希望者のうち就業者の残りが完全失業者になるが現在の六十三万人を卅五年には四十万人程度にしたい

井堀氏 この数字は職安の窓口を通じて計算されたと思うが、完全失業者のうちには半失業者や潜在失業者も含まなければならないから実際はもっと多数にのぼると思うがどうか

高碕長官 政府は完全失業者の問題を解決するだけで満足していない、当然潜在失業者対策を考慮に入れているが全体の生産を増加して一人あたりの収入を増加するより解決の手はない、卅五年には国民一人当りの収入を廿三％増加しこれで潜在失業者を緩和したい

ラジオはナナオラ

予算委公聴会公述人

予算委公聴会公述人の顔ぶれ次のとおり

◇十九日＝経済同友会常任理事郷司浩平（財政）武蔵大学教授芹沢彪衛（財政）農林中金副理事長江沢省三（農業）慶大教授伊東岱吉（中小企業）東京教育大教授藤岡由夫（原子力利用）官公労議長柴谷要（労働）

◇廿日＝大阪大学教授伏見康治（原子力利用）全国農業会議所事務局長楠見義男（農業）長野県知事林虎雄（財政）東京大学教授武田隆夫（財政）早稲田大学教授一又正雄（国際法）全繊同盟会長滝田実（労働）

暫定予算案〈六月分〉を提出

政府は十七日の閣議で六月分暫定予算案を決定、直ちに国会に提出した、衆院予算委員会は同日午後一万田蔵相から六月分暫定予算案の提案趣旨の説明を聞き十七、十八の両日質問を続行、廿一日総括質問を行う予定であり、政府側は同暫定予算案は廿三日ごろ衆院を通過するものと楽観している

耐火集団住宅が主体

住宅公団法案 閣議で決定

政府は十七日の閣議で日本住宅公団法案を正式に決定、今週中にも国会に提出する

同公団は政府の住宅四十二万戸建設計画の一翼として卅年度には耐火住宅二万戸建設および宅地百万坪の造成を行うことになっている法案の主な点はつぎのとおり

一、目的＝住宅不足の激しい地域で勤労者のために耐火構造の集団住宅を建設する

二、性格＝政府出資約六十億円および地方公共団体の出資による法人とする

三、運営＝議決機関として公団総裁および任期一年の委員五人よりなる管理委員会をおく、委員のうち二人は公団に出資した地方公共団体を代表する、公団の役員には総裁、副総裁各一人、理事五人以上、監事二人以上をおく

四、業務＝住宅の建設、宅地の造成、住宅（宅地）の賃貸、管理、譲渡、その他特例によりMSA米軍事顧問団宿舎の維持管理を行う

原子力飛行機

ソ連近く完成

東独紙が報道

【ベルリン十六日発AP＝共同】東独のフライプレッセ紙は十六日の紙上で「ソ連で近く原子力飛行機が出現する」と次のように報じている

ソ連の科学者達はこのほど特殊の軽金属を発見したがこの結果飛行機に装備できるほど軽い原子炉を作ることが可能になった、原子炉で水を蒸気にかえ、それがターボ・プロップ・エンジンを動かすわけだが原子力飛行機の初の飛行は間もなく行われるだろう

廿五日からか

ソ連・ユーゴ会談

【ベオグラード十六日発AP＝共同】消息筋が十六日語ったところによればソ連とユーゴ両政府首脳の会談は来る廿五日のチトー大統

市況

閑散低調

政局の動きに注目して見送り人気が強いが市況は前日来の小口売物に押されて閑散のうちにも小甘い成行をたどっている、特定株は主力株はほぼ下げ止りとなったが、買気が続かないため概して弱含みに保合い、貿易株は貿易株に減配懸念の売物があって一、二円方小甘いのを中心に全般にジリ安商状を改めず山一の三菱造船、新電工などに金ヘン株買はじめ、大証券の下値支えの買注文もほとんど相場にはひびかなかった

▽安い株＝旧物産十円、旧商事八円、東洋工業、大和運輸五円

東京株式仲値

□新株落△配当落
（17日前場終値）

特定銘柄							
東海上	281	昭電工	78	旭化成	317	カボン	50
郵船	56	日本曹	75	山陽パ	99	三井物	137
新三菱	90	旭電化	75	日本パ	91	第一物	100
日清紡	268	三菱造	73	国策パ	97	白木屋	247
味の素	290	三井造	105	東北パ	113	高島屋	79
三越	271	三菱重	60	大東紡	93	日活	84
平和不	197	石川重	90	商船	50	松竹	197
三井金	106	精工	136	三井船	46	東宝	—
三菱金	84	東洋ベ	113	飯野海	41	大映	174
日鉱	79	日立造	42	西武	357	日本粉	120
住友金	96	浦賀	46	藤田興	223	日清粉	149
三菱鉱	40	日平	25	東京ガ	65	日本ビ	148
古河鉱	58	古河電	67	東電	427	朝日ビ	174
同和鉱	108	日立製	68	日銀	—	キリン	194
住友炭	57	東芝	64	東銀	80	宝酒造	84
三井山	55	三菱電	85	三井銀	—	台糖	222
北海炭	47	小松	60	富士銀	87	明糖	112
東邦亜	62	日本光	138	日証金	90	甜菜糖	113
帝石	66	キヤノ	142	安田火	111	野田醤	190
日石	95	東京光	—	大正海	87	森永	278
昭和石	91	東洋紡	134	住友海	77	明菓	165
東燃	113	鐘紡	112	千代田	75	日水産	76
三菱石	106	富士紡	108	鋼管	65	昭和産	91
大協石	119	大日紡	78	日製鋼	64	東洋鋼	68
日東化	71	日東紡	60	八幡鉄	51	合同酒	102
日産化	74	片倉	35	富士鉄	49	三楽	83
三菱化	97	呉羽紡	—	神戸鋼	55	大阪糖	152
三井化	108	東邦レ	105	日特鋼	126	王子紙	202
協和醗	108	帝麻	64	日軽金	172	十条紙	212
東合成	108	中織	55	日金コ	56	本州紙	88
信越化	84	帝人	121	日セメ	123	三菱紙	88
東高圧	117	東洋レ	166	常磐セ	232	北越紙	51
		三菱レ	121	小野田	77	三井不	781
		倉レ	82	横浜ゴ	207	三菱倉	503
				旭硝子	140	三井倉	80
				富士写	116	渋沢倉	86
				小西六	106	東洋埠	181

俳優と英語

粋人酔筆

大森から六郷にかけて、レンゲの花が咲く[illegible]

[illegible]けに二度びっくりだった。そのしゃべった英語をご紹介しよう。

[illegible]たものだ。まあ、左団扇をレフト、ファンとでも言いかえたのは良いだろう。しかし長煙管をロングパイプ[illegible]

[illegible]に当った。それもハリウッド熱を振り回すのでどうにもこうにも手が付けられなかった。

[illegible]

横尾泥海男

内外抄

この時この際米軍トラックとの衝突でまた「修学旅行」入りの国鉄事故、修学旅行最悪の年。

◇

修学旅行に教育委の同意が要ることになる。アツモノにこりてナマスをふく文部省。

◇

民主党、「連立」で切抜け、あわよくば「合同」で自由党を食おうと。その手は食わぬと自由党。

◇

濃縮ウラン受入れから原子力工業へ。ジェット機の国産へ。「平和屋」をビクツかせる話ばかり。

◇

元軍人恩給を文官なみにとは通った筋、軍人遺族の扶助料引上げは一層通った筋道。

なんかい川柳 吉田機司選

盲人も海を聞いてる波の音　野田 川嗣一路

急停車こゝを先途と寄り掛り　川崎 小宮せいじ

露出部が多いほどよいニューモード　三鷹 是公

ハイキングならばと思う分譲地　船橋 稲村三久

当選をすれば稼げる腰を折り　板橋 小山浦之助

自家用車奥様はまた気が変り　千代田 斎藤青汀

早起きの闇屋儲かる当があり　中野 相崎六華坊

ジグザグコース

アプレ右翼

護国団本部が暴力行為の疑で十五日淀橋署の手入れを受け、容疑者が検挙される事件が起きた。

ことのおこりは去る十二日同団員二人が平和相互銀行神田支店から借金取立てを依頼され、借り主二人を不法監禁して暴力をふるったことからというが、さしずめ昨年秋警視庁に多数検挙された暴力団と大差ないことになる。

右翼が戦後十年たってもさっぱりふるわないのは時代の流れもあるが戦前とちがって金回りが悪いからだ。昔は軍部から金が出ていた、大きな機密費は臨軍費という奥の手もあった。戦後これら旦那衆が没落し、財閥も解体して、右翼独特のスゴミをきかして金をひっぱり出すこともできなくなった。そんな中で護国団は乗用車を持っており、青年隊員にはお仕着せの制服を着せている。団長の井上日召氏などは東京大阪間を往復するのに専ら日航機を利用する豪勢さだという。しかし前記の事件をみるとお台所はやっぱり苦しいらしく、借金取りの片棒かつぎをしている。

余談だが去る十一日福岡玄洋社の進藤喜平太翁の卅年忌がゆかりも深い谷中全生庵で行われた。この席上主催者の末永節氏が次のようなエピソードを語った。玄洋社創立の資金は後年いろいろ伝えられたが、本当は頭山満氏を中心とする青年達が福岡裁判所の出頭令状くばりのアルバイトをして資金を作ったというのである。当時のことだから一枚三銭か四銭だったろうが、チリも積って玄洋社の基金となったことは自由民権、藩閥打破を叫んだ往時の純真な青年達の逸話として大いに感心させられた。大正時代のアナーキストは資金カンパをクロポトキンの「パンの略奪」からもじって"リャク屋"と称し方々をたかって歩いたというが、この方は借金取立ての片棒かつぎより可愛いところがある。

天下国家をこんな縁に論ぜられるなら地下で頭山さんも泣くだろう。（藤）

【写真は故頭山満氏】

青春無宿 (8)

大林清　下高原健二画

銀座の奇蹟（一）

廊下にはどの部屋の前にも、がらくたが積みあげられて、通行をさまたげているが、宇田の部屋の前だけは、きれいにかたづいていた。日本広告研究所というすいかめしい名にかかわるからかと思うと、決してそうではない。出そうにもがらくたがないのだ。

千子はその部屋の戸口に立った。今日は昼間お客と強引に行った箸の木崎真弓から、宇田が昼間はたいてい部屋にいると聞いたので、この時間ならまず大丈夫と見当をつけていた。

軽く気取ったノックをしたが、応答はなかった。二度目は少し強くたたいた。

「いないのかしら？」

階下で下駄箱をしらべて来るのだったと思いながら、ためしにノッブをまわしてみると、案外手ごたえなくドアがあいた。

「あら」

千子はたじろいだ。アンダー・シャツ一つに下はパンツの次郎が、二つに折った座布団を枕にし、毛脛を組んで昼寝の最中だった。

「宇田さん！起きなさい、お客様よ！」

次郎はゆっくり首をめぐらして薄眼をひらいた。ちょっとの間、千子を見まもっていてから、別にあわてもせずにからだを起した。

「こんちわ、おとといの晩は失礼」

千子はかまわず部屋へ踏み入ったが、途端に思わず爪先立ったのは何年にもとりかえたことのなさそうな畳が薄く綿埃をかぶっているように見えたからだ。見まわしたところ、世帯道具らしいものは何もなく、ちゃぶ台兼用の机が一脚、その周囲に書籍だの外国雑誌だのが乱雑に積みかさねられ、壁の釘にぶら下った洋服と、押入れから半分はみ出した寝具が、独身者の住居らしいわびしさを見せていた。

座布団がないので、千子はなるべく埃の少なそうなところを選んですわると、まだ戸口をはいりかねていたつれをふりむいて、

「あんたこっちへはいんなさい」

と、呼び入れてから、

「宇田さん、あたしあなたに洋服プレゼントするわ。ちょっと寸法はからせてあげて」

千子が従えて来た男は洋服屋だったのだ。

「どうして僕があんたにそんなものをもらうんです」

「あんた着たっきり雀なんでしょう、その格好でお店へ来られちゃ、お客様が逃げ出しちゃうからよ」

「まだだれもあんたの店へ行くとは云っていない」

次郎は机の上からつぶれた新生の箱をつまみとった。

「煙草あるわよ、はい」

千子はハンドバッグをあけて、アメリカ煙草の箱をとり出すと、馴れた手つきで口を切り、ポンと一本たたき出した。

「今日はあたし日本広告研究所のお客様で来たのよ。あなた・アドプランナーでしょう、うちのお店の宣伝顧問になって欲しいの？」

「バーの宣伝てやったとないな」

「うちへ光代さんが来ることになったわよ」

「光代さん？」

次郎はさし出された煙草をつまみとりながら怪訝な顔をした。どこかで聞いた名だとも思わなかった。

夢か現か5,000億円

久里浜沖に眠る？海底の黄金物語

神奈川県久里浜沖に、明治元年江戸城明渡しのとき運び出されたと伝えられる徳川幕府秘蔵の財宝（時価約五千億円）が、空しく海底に眠っている。その真偽はともかく、この財宝引揚げをめぐって終戦後二人の権利者が紛争を続け、昨年一たん和解し[illegible]が右翼団体に作業の一切を一任、いよいよこの五月末から財宝引揚げに取りかかることになって、話題は更に話題を呼んでいる。五千億円といえば、政府の年間予算を半分は賄えるトテツもない金額、それでなくてもデフレの[illegible]この世ではヨダレの出そうな金高である。果して夢か現実か—映画「海底の黄金」さながらの財宝物語をくりひろげてみよう

……こういう潜水装備で行う引揚げ作業……

江戸落城前に搬出

徳川の財宝満載し沈没

早丸遭難状況

[illegible]鉄骨木造の三本マスト、当時で優秀船の一つである、針路は東へ、さらに三浦半島を迂回して西へ変え、久里浜沖を通過するころ、積船はぱったり消息を断った、積船は英国ロイド保険会社の海上保険がつけられていたため、同社の者によって遭難沈没したことが明かになった、その積荷というのは、所有権確認訴訟（昭和廿七年十二月十五日—東京地裁）の書類によると

▽メキシコ銀（時価六万ドル見当）横浜オリエンタル銀行から同行上海支店へ現送
▽伊予別子銅山産ナマコ生銅一〇三斤（六一〇トン）神戸オランダ八番館から本国回送
▽奥州南部産青銅一四〇斤（八三〇トン）横浜オランダ八番館から本国回送
▽仙台伊達家の大判小判一〇万貫
▽福井松平家の大判小判五三万両
▽古金銀一〇万両
▽正宗一振

その他豊太閤ゆかりの燭台一対、毛織物、唐糸、小銃弾など伊達、松平家の財宝とともに江戸落城のさい城中から運び出されたとみられる財宝品目があげられている、その翌年四月十二日、同船の積荷は海中に秘められたまゝ競売に掛けられ、横浜ギルビー商会が六万五千ドルで落札、香港から潜水技術者を招いて引揚げにかゝったが失敗、翌三年七月、同じ横浜の豪商初代高島嘉右衛門がギルビー商会から権利を譲り受け、このときの作業も困難を極めたが、辛うじて唐糸百十四梱、小銃弾、煙筒などを引揚げたもようで、同時に沈船の位置もほゞ確認された

両者共有に落着

五月頃やっと引揚げへ

所有権の経緯

[illegible]人は大田区田園調布在住の林芳枝さん（六九）＝現ペルー駐在代理公使林馨氏母堂＝であり、片や新宿区戸塚町小田勝次氏（六三）である、両者の沈船に二人の権利者とは話がこんがらかり過ぎる…という話

どちらの手に握られるかモノがモノだけに関心は大きかった、ではなぜ権利が二つに分けられたか、両者の申立てをつゞり合せると初代高島嘉右衛門はその後伊予宇和島藩の英学者だった遠山憲美と契約、彼の知識をかりて早丸の船尾甲板を取除き第二甲板まで達したが、それ以上の作業は不可能となって中止、高島は日本橋の米問屋鈴木銀十に権利を譲り、鈴木は大正十四年弁護士林増之丞氏（芳枝さん亡父）に譲った、一方、遠山の権利もまた井上某、小田某、大屋某と譲られて、現在小田氏の手に渡り戦後双方から米軍へ引揚方を出願したが許可にならなかった

結局東京地裁はこの訴訟に対して「財宝—があるとするなら—その所有権は両者共有とすべきである…」との極めて公正な裁定を下したのだが、両者とも資金、人選の調達がつかず、折角の権利を持ちながら手がつけられない、そこで話合いの結果、某右翼団体に一切をゆだねることになり同団体では正式事業として取組むことを決め、理事長松木良勝氏から友人の鉱山業三好高一郎氏に作業を依頼、この五月末からいよいよ本格的引揚げに掛ることになった

単なる"ドロ船"か

疑問視される積載量

謎を残す宝船

[illegible]千秒、北緯卅五度十二分十五秒深廿七尺の位置で一尺から二尺砂泥に埋っており、船体は三つ割れ、船首部は右へ、中央、船尾とも左にそれぞれ約卅六度傾斜して横たわっている、このため作業は砂泥を取除けることから始め後島根、秋田で海中物件引揚げに成功した三好氏の経験によって水中ダイナマイトを爆発させて泥層を動かし、船中の砂泥をサンドポンプで吸上げたのち、米国から取寄せた新型潜水器具を使って財宝を運び上げるという段取り、順調にいけばこの梅雨前には成功したい…と関係者は意気込んでいる

しかし、果してこの早丸に江戸城最後の財宝が積込まれていたかどうか…伝えられるところでは、江戸城の財宝は当時赤城山麓や甲州の山中に持ち出され隠匿されたといわれ、またある説では、その財宝も当時はすでに軍資金として使い果され、落城前後は無一物だったという

しかも、早丸の積載トン数がどの程度か明かでないが、当時大船といわれたにしても七、八百トンクラスの汽船が総量千四百トン余の生銅、十万貫以上の大判小判を積込めたかどうか疑問視されるわけで、さらにまた仙台、福井藩その他の財宝がどこへ、何の必要があって運び出されようとしたのか、記録にない、だが、早丸が久里浜沖海底に眠っているという事実からいえば、常識外の荷を積んだために雑途?空しく遭難したとの想像も成り立ち、たとえ財宝が目録通り出なかったにしても、早丸のナゾは同時[illegible]

思想関係はない　右翼団体依頼

林千冬氏（芳枝さん次男＝医博）の話　思想的にどうというわけでなく、幹部と話合って熱心さが判ったので協力をお願いした、江戸城最後の財宝があるかどうかは判らない、しかし十分の一のものが浮び上っても、大したものだ、もち論全部を私有するつもりはなく[illegible]

……海底の早丸の状態……

……早丸の沈没現場……

夏の味

え・島村辭児

早春、雪の下から、つぶらな花芽を出す"ふきのとう"は、梅の花とともに、昔から清品とされ、食品として、また、富貴と称して日本画の題材としても有名である。

ふきはその香り、ひすい色の肉質、こころよい歯切れが賞味せられ、吸物、すの物、煮物等等、初夏の爽涼な味覚を楽しませてくれる。が、その葉は、バッサリと切って棄てられるのが常である。

この葉を熱湯でサッとゆで、水にひたしてアクをぬく、二、三度水をとりかえて、一晩おいたら十分水を切って、細くきざんで、トロ火にかけ生醤油で汁がなくなるまでゆっくり煮〆める。ふき独特の山野の香り、かすかなホロ苦さはいながらにして、深山、幽谷にいる思いがして、羽化登仙の味ともいうべきか。酒の肴によく、お茶漬けの友によく、また食欲増進に絶品である。

（品川居）

モダン歳々記

学名サダイズム

昭和十一年五月十八日、尾久の待合で阿部定は情夫石田吉蔵を腰紐で扼殺し、その屍体と痴戯をつづけた挙句、男の一部を切断し、吉蔵の腕に自分の名を彫り込み、自分の長襦袢にもその血を塗り、切断したものをハトロン紙に包んで持ち回った「好きで好きでたまらない」という女の異常な独占欲がこういう犯罪を生んだのであるが、彼女の手記と称するものを読むとなかなか人間らしいものがある。

彼女をとりまく男達の中にはいろいろな人物が登場するが、その一人に名古屋の商業学校の校長先生がいて、この人と彼女の関係などは、彼女が素直な女になり、また大宮校長なる人物も、彼女の肉体に惹かれ乍ら、これを精神的に高めようとして、いかにもいじらしい人間の哀れさをみせている。

当節ではこのお定女史をおとこ斬り第一世といっているが、彼女に始るものでもあるまい。同じ年の七月にも山梨県で廿八歳の妻が廿六歳の婿のものを斬った例があり、翌年には静岡県で情夫のものを斬った女もあり、戦後にも数例がみられる。だが、復讐や独占的愛欲からのこの所業をサダイズムと呼ぶのも彼女の人柄からなのであろう。（鮭）

あすの運勢

高島象山

＝五月十八日＝

▲一月生—物事に邪魔が入り行き悩み易い迷う事なく稼業をまもれ
▲二月生—自動的に技術を発揮して努力すれば効あり目的を達する
▲三月生—はれやかな気運に恵まれて物事進展向上あり開業改革吉
▲四月生—貫き[illegible]なる気構えを以て徐々と活動すれば次第と向上する
▲五月生—虚勢をはる事なく真実を発揮して行けば次第と向上する
▲六月生—目前の利欲に迷い他人の甘言に乗って大に失敗あり注意
▲七月生—大事はよろしからず小事に吉の日なり消極的に活動せよ
▲八月生—継続的好調に至り利達栄昌あり新規は凶現状維持によし
▲九月生—物事焦燥して失敗を招き感情に走って失態を生じ易い日
▲十月生—気迷いを起さず稼業大事と辛抱して努力すれば栄進する
▲十一月生—物事自信と確信のある事は大膽に決行して栄達ある也
▲十二月生—功を焦らず経験を生かして活動すれば信を得るもの也

異流世界譚（オランダ）

日本と同じように、オランダの農村でも嫁というものはヒマがありません。朝起きると食事の支度、それが済むと直ぐ野良仕事、さて一日中働いて、汗まみれになって戻ると、こんどは洗濯や縫物をせねばならず、寝るのはどうしても十一時か十二時になってしまいます。ところが亭主のグンデルときたら精力絶倫、たやすく妻のマルタを寝かしてはくれません。これにはいかにオランダ女は頑健だからといって、全く身心共にクタクタです。また姑というのはどこでも嫌がられの存在であることに変りはないものですが、ある夜更け、姑がドアをコツコツ叩きました「ギイギイ音をさせて、何してるんですッ」これには折しも汗だくのマルタはびっくりしました。

「はいあの、風車の音でしょう」「風車が鼻息を出すものですか」たまりかねて亭主のグンデルが助太刀を出しました。「おっ母さん、寒空に立っているので、風車も風邪を引いたんですよ」「そうだろうね、鼻水をたらしているかも知れない、なんせ鼾えがひどいようだもの」

浪人街道（159）

木村荘十　野口昂明画

花吹雪（七）

石の段の下は、赤土を素掘りにした抜穴であった。

床の間の床板があがると、かすかに細い一条の明りがもれているだけで先は真っ暗である。

しめっぽく、いやな臭いが鼻をつく。

よほど、昔からある抜道らしい。恐らく、あの庵には、よほど恐ろしい敵を持っていたものが住んでいたに違いない。

お艶は、どうしてこんな場所を知っているのか。多分、むささびの三次などが、いざという時のかくれ家にしていたのだろう。

お艶は、汗ばんだ手で、啓之助の手をしっかり掴んで、ぐいぐいその暗黒の中に入っていく。

「啓さま」

今は、呼びようまでそんな風になまめかしく、べたついて握った手に両手をかけ、男の腕を腋の下[illegible]

に知らせるようなものですから…でも、若しもの時は、私も短銃を使いますけれど…」

「うん」

啓之助は、お艶の手が、汗でにちゃにちゃしていて気持が悪かった。

お艶という女は、こうして闇の中を歩いていても、何か淫らな、ねっとりした感じで男の官能を刺[illegible]

離れようとすると、お艶は男の腕を引き寄せて立ちどまってしまった。

「啓さま」

あえぐような、息の絶えそうな甘ったるい声だ。

伸びあがって、唇を近づけて来る。

女の息が頬をくすぐる。

「な、なにをする」

「お願い、抱いて」

「よせ」

お艶は、情事の前には、危機もなにもないらしい。それは一種の狂気沙汰だった。

が、彼女にして見れば、落ちない男を口説き落そうとする蛇のような一念…云いだした女の意地…今の言葉でいえば、火のような征服欲に燃えていたのであろう。

啓之助は、お艶の妖しい情火に包まれてくらくらとした。

「ねえ、お願い、こんなに思いつめているのに…可哀想だと思って…たった一度でも…」

女の火を吐くような声音に、啓之助は、そっとして、

（いっそ斬り捨てて）

と思ったが、魔性の女と思いながら票って来るものは斬れなかった。

[illegible]

17日（火）ラジオとテレビ

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷ちえのポスト　柳内達生他 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇今日の市況 30 受信機講座　宮村久春 40 科学家庭座談会	10 東西こぼれ話　小金治 15 スイート・コンサート 25 ドレミファ・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 東京マンボ楽団	00 劇「ポツポちゃん」 20 劇「まんばん太郎」 35 歌謡百貨店三条町子他
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 話の泉　堀内敬三　渡辺紳一郎　東郷青児ほか	00 名曲鑑賞　大学祝典序曲　ブラームス作曲ほか 30 土に生きた人「椎名道三」語り手・二宮融	10 録音ニュース 20 歌うオルガン　松沢宏 30 ❶漫才　ひろし・まり ❷落語「古手買」円遊	00 録音ニュース 10 私の東京ぼくのパリ 30 お国自慢のど自慢　司会笠置シヅ子ほか	00 ラジオタ刊（耳の新聞） 20 花のステージ市村芳子 30 歌のアルバム　真木不二夫　菊池章子ほか
8	00 青空の仲間「五月晴の巻」榎本健一　厳金四郎 30 民謡を訪ねて　梅寿　斎藤京子　新地節ほか	05 きようの国会から 20 シンフォニー・オブ・ジ・エアー特別演奏会❶交響曲第35番ニ長調　モーツアルト作曲❷祈りと舞曲　ポール・クレストン作曲❸スペイン狂詩曲　ラヴェル作曲ほか	00 渡辺弘とスターダスターズ　歌・キゾンほか 30 歌の風車　霧島昇　宝とも子　若山彰ほか	00 家庭音楽会　司会・浅倉アナ　三味線豊吉ほか 30 連続講談「徳川家康」第五十一回　宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿　司会鮎郎　旗照夫　新倉美子 30 劇「ほらふき騎士」森繁久彌　小沢栄　桜京美
9	05 ニュース解説平沢和重 15 劇「源義経」岩井半四郎　島崎雪子ほか 40 時の動き		10 浪曲天狗道場　前田勝之助　相模太郎ほか 40 唄の四季　春日とよ寿　とよ福美　とよ晴	00 歌うバースデイプレゼント　灰田勝彦　岸井明 30 落語❶かけとりずくし　助六❷家見舞　可楽	00 浪花節「隅田川誉の水馬」春日井梅鶯 30 劇「一度きりの機会」芥川比呂志　北村和夫他
10	15 虹のしらべ・歌B節子 40 芸術よもやま話　志賀直哉　尾崎一雄	00 ❶初級国語　鳥山榛名❷上級解析　山崎三郎 45 気象通報	05 きようのニュースから 15 劇「新選組」大木民夫他 30 歌劇「ファウスト」から	00 大学受験春期基礎講座　和文英訳　JBハリス 30 解析（2）戸田清	00 劇「南無三宝」小沢栄他 35 劇「緋牡丹記」轟夕起子　長谷川裕見子ほか
11	10 戦争花嫁余話正岡藤吉 20 木の芽田楽武井つたひ	05 専門店への道高橋重一 20 医学の時間　岩崎竜郎	10 マイクロータリー「私の動物記」古賀忠道ほか	00 補導警官の手帳から 30 交響詩「タピオラ」	15 夢のいざない 40 私の母　市川猿之助

テレビ

★NHK★◆6・00 動物の謝肉祭◆6・30 サラリーマンうらおもて　玉川一郎◆7・30 明治座から中継「鼬小袖」花柳章太郎　水谷八重子ほか◆8・50 短篇映画◆9・15 ニュースの焦点

★NTV★◆6・00 猛獣映画◆6・20 劇「私のお母さん」近藤圭子ほか◆6・50 カメラ探訪「才能教育」◆7・30 プロ野球実況「国鉄対阪神」越智アナ（後楽園球場から）◆9・00 きょうの出来ごと◆9・10 テレニュース

★KR★◆6・20 短篇映画◆7・00 花のある家「一人と二人」峰久美子　藤波ゆかりほか◆7・30 しろうと寄席　司会牧野周一◆8・00 歌謡ショウ「港の夜ばなし」泉恵子ほか◆9・00 ニュース◆9・10 シネマ案内

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問　河野鷹思	8・00 療養の時間◇体操	8・20 ラジオ・スケッチ	8・25 劇「青春のある所」	8・10 お早ようプーちゃん
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	9・05 チャッカリ夫人	9・15 ラジオ小説「三家庭」	8・45 お好み歌謡曲
8・30 趣味の手帖津田正夫	9・15 ラジオ音楽国語教室	10・10 名作「集金旅行」	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 劇「サザエさん」
9・15 重宝な糠味噌漬	10・30 日本の昔「奈良の都」	11・35 音楽のスーツケース	11・35 連続劇「東京の人」	10・00 やりくりチヨ子さん
10・05 けさの話題小田善一	11・30 世界名曲めぐり	12・15 ワゴン・マスターズ	12・00 活動から映画へ	10・45 婦人の手帳北川敬三
11・15 朗読「晶子曼陀羅」	11・45 英文研究「幽霊物語」	1・30 ドラマ「電話」	1・15 落語「たがや」助六	11・00 連続劇「信子」

『中小企業を護る銀行』

傑出する"割増金つき相互掛金"

国民相互銀行社長　鎌田正明氏

◇…銀行は金を預りこれを貸出し正当な企業を援ける仕事を業務としている。しかし、同じ銀行でも大企業の為にあるものと、中小企業の為にあるものとは、おのずからその性格が違う。三井、三菱などはさしあたり大企業を護る銀行だろうが、これと反対に「国民相互銀行」は中小企業者の為の銀行だ。だから、中小企業者が、金を預ける場合は大銀行を利用し、借りる場合だけ国民相互を利用するというような場違いな方法をとったらどうなるか。預けた金はみんな大企業に廻って、ひいては中小企業圧迫の資本金となり、自分たちの首を自分たちでくくるような事になり兼ねない。こんな馬鹿げた話はないと、国民相互銀行の社長鎌田正明氏は慨嘆するのである

◇…のれんのある銀行としてつとに有名な「国民相互銀行」は、誕生三年にして既に一流の城に近づいた斯界の惑星だが、こうした立場の相違を前提として創立から"国民大衆の銀行"を銘打って発足した。大衆と共にあり共に歩むことのシンボルとしてのれんを下げ、建物も親しみ易いことをモットーにいかつくなく、行員のシツケはスピードより親切正確を、と厳しく指導しているから、次第に中小企業界に真価を認識されて遂に今日の大を成したといっていい

◇…中小企業界の為の銀行としての特色は数々あるが、その第一は何といっても「割増金つき相互掛金」の制度だろう。一口の掛金千円で十ヵ月掛、毎月一回抽選があって十口に一口の割で給付金一万百三十円を受取れる。給付金を受けた後の掛金増は月百円という、昔の無じん制度を近代化し、しかも懸賞抽選を行って二千口につき特等五万円一本、一等五千円二本、二等一千円十本、三等二百円二百本の賞金がある。無じんと比べると給付を受けた後の掛金増の負担が軽いし無じんにはない懸賞がついているものだ。という素晴しいものだ。

◇…一円以上なら、どんな少額でも預けられる普通預金、一口一万円以上七日預けて引出しに二日前の予告を必要とするだけで普通預金よりずっと有利な利息のつく通知預金、その他貯蓄組合預金、納税準備預金、当座預金など種類は多い。

◇…本店は千代田区須田町二ノ二五、支店として、八王子八幡町、北区王子一ノ八、品川中延二ノ二七六、台東区松葉町一四二、杉並区大宮前六、渋谷区上通り二、目黒区自由ケ丘一の計七ヵ所に店を持ち、今月廿日に開店するものに本郷動坂支店がある。

◇…社長の鎌田正明氏はこの大世帯を切り盛りするにふさわしい温厚篤実な人で、趣味も多く、特に漢詩、俳句、囲碁は素人の域を脱している。金融界の明星として誇っていい人と店である。

各界ピカー訪問記

③

大東京に何十万とある商社、料飲食店、工場、店舗の中から、これはピカーだと自他共に許す所を訪ねた"各界ピカー訪問記"が即ちこれである。

鳩山首相大いに食う

錦天ぷら

義太夫師匠の主人　竹中巳代太郎氏

創立大正二年というから四十三年の歴史、終始"うまい天ぷら"に徹底したその誠実が通じて華族さまから政界財界のお歴々、文化人芸能人に至るまでいずれの社会の人々からも珍重されて今日に至った京橋一丁目六の「錦天婦羅」の主人竹中巳代太郎氏は、また稀にみる多趣味多芸、話題の豊富な人だ。終戦直後の混乱期に、味の素の鈴木御大と相談して、バラック住まいの大衆に"うまい天ぷら"を安く食わせようと一決したとき、よしやッ！とばかり一肌ぬいで損得抜きの商売に徹底したあたり並大ていの人物ではない。米軍が進駐するや、外貨獲得のときとばかり青い眼の食通に積極的に呼びかけ、衛生やら味やらに小うるさい米人に歓迎された。鳩山首相とも親交深く、アメリカに知人の多いことも手伝って"アイクに天ぷら食べさせてどい"ということになり、近くアメリカ大陸を天ぷら道中とシャレる予定だという。また最近味の素ビルが京橋に建つので、その地下全部を使い、天ぷら、すき焼、日本料理の三部門を設けて、最上の味を最も安くをモットーに大衆に呼びかけるといっている。現在の店も清潔で、十数名の店員もみなオヤジのしつけで感じがいい。趣味は義太夫で名取りの師匠、竹本紅葉太夫といえば知る人も多かろう。業界では支部長、理事の重任を果している。

ゴルフの隆盛を導いた功績

有賀ゴルフ製作所　有賀英雄氏

廿三年前浜松町にゴルフ練習場を開き、戦中戦後の苦難をのり越えて遂に今日の隆盛を導いた人に有賀ゴルフ製作所所長の有賀英雄氏がある。本社工場を湯島天神一ノ二（電33七四三四）にもち、店を銀座西一（電56二二四四）と虎ノ門南佐久間町一（電43〇七一八）に出し、名実共に都内ゴルフ製作販売を押えている斯界の雄だが、舶来一辺倒の悪いくせを排し、体力的にも資的にも日本人に本当に合ったものを研究、普及した功績も大きい。趣味もゴルフで、ゴルフオンリーの生え抜きのゴルフ人で、本社工場のサービス用無料練習場は多くの人々に愛されている。四十八歳、活動的な実業人だ。

武田の血ひく異色の家系

常陸屋二代目　武田喜久男氏

日本人は誰でも先祖をたぐれば天皇に通ずるとは、よく戦事中にいわれたことだが、これ観念の問題で、実際には家系のはっきりしている人は極めて少ない。こんな中にあって台東区入谷町二九番地に店舗を構える老舗中の老舗、水陸鳥問屋の「常陸屋」は筋のいい家系をもつ店として有名だ。「常陸屋というから水戸近在の出だろうと、あてずっぽに聞いてみると、二代目、つまり現在の当主武田喜久男氏は楽しげに微笑した。先祖は武田家まではっきりしているという。血筋をもつが、戦い敗れて常陸に走り土屋侯の庇護を受けていた。常陸屋初代は東京帝大農学部出のインテリー、一時農商務省の官員さんをしていたが故あって"鳥や"に転じたという一風格を持つ人物。学者としても有名だったが、この血をひく当主の喜久男氏がまた商家には珍らしい博識者だ。趣味として研究している牛、豚、馬、その他畜産関係の研究は既に趣味の域を脱し、趣味は釣のみといわれる。いくらか一本気の嫌いはあろうが、商売用の台帳を希望とあらば誰にでも見せる気骨はちょっとヤミ屋上りのアプレ商法の真似られないものだろう。「何でも正々堂々とやりますョ。筋の通らない話は嫌いです」という。十余人の若手店員もこの気風を受けてキビキビしている。明治四十三年生れ

まさに修学旅行恐怖時代

紫雲丸の大惨事に引続いて岩手県花巻近くでバスが転落、小学生ら十二名が即死、修学旅行恐怖時代の観があるが、またまた十七日未明東海道線東田子の浦―原間の踏切りで油を積んだ米軍トラックに修学旅行の臨時列車が衝突して引火爆発、修学旅行帰りの東京工学院高校生ら廿三名が重軽傷を負った、退避が早かったので幸い死者は出なかった、また同日福岡県でも修学旅行のバスが火を噴き、小学生卅名が火傷を負った、相次ぐ惨事に、子を持つ親の不安はいよいよつのるばかりだ

衝突現場の全焼した列車の残がい (列車の内部＝電送)

煙噴く枕木、電柱　列車鉄ワク残し黒こげ　凄惨な現場

【静岡発】客車五両を焼き、重軽傷者八名(国鉄調べ)を出した東海道線旅客列車の事故現場は東田子の浦駅から東方約一・五キロ、東京起点一三六・六キロの新国道一号と旧国道線がぶつかり合う警手のいない無人踏切である、現場に転台だけがわずかに原形をとどめ、機関車をふくめて五両の客車が鉄ワクだけ残し、まだぶすぶすとくすぶっている、踏切から道路わきの石垣には赤、白色とりどりの米軍トラックから飛び散ったペイントが一面にこびりつき、臭気をはなちながら盛んに煙を吹いている、かたわらにはメチャメチャになったトラックの後部に廿数個のドラムカンがペチャンコに押しつぶされ、根本から折れた電柱のかたわらに学生服の上着が二、三、泥にまみれて捨てられてあり当時の混乱ぶりを物語っている

上り各列車遅れる

東海道線の事故のため十七日朝東京着予定の上り列車はつぎのとおり各駅で臨時停車を行っているが、東京着はいずれも数時間遅れる△由比停車三三二列車(団体臨時)△静岡停車急行「大和」急行「早鞆」急行「せと」△用宗停車急行「明星」△焼津停車急行「筑紫」△藤枝停車急行「銀河」△金谷停車急行「彗星」△堀ノ内停車急行「安芸」△掛川停車急行「月光」△袋井停車三三一八列車(団体臨時)△磐田停車浜松発東京行八三〇電車△天竜川停車浜松発東京行三二四列車、なお下りは午前八時すぎ復旧した、上りは午後四時ごろ開通見込み、なお衝突事故による急行券の払戻しは推定約二百五十二万円になる見込み

病院で手当をうける工学院付属高校生たち (静岡電送)

ドスン一発！忽ち火の海　もう旅行はこりごり　同乗の女高生語る

あやうく難を逃れた文華女子高校(文京区関口町一九二＝校長河口愛子氏)の先生三名、付添二名、三年生徒六十九名は、心配した父兄や先生の出迎えを受けて十七日午前七時廿六分東京駅着の列車で帰京した、同校生は幸い最後部の車両に乗っていたので怪我人はなかったが、恐怖の瞬間を次のように語った

遭難当時を語る文華女子高校生徒 (車中にて)

△引率の同校教頭金子政夫教諭の話　もう旅行はこりごりだ、うつらうつら眠っていたらパッと明るくなりドスンときた、前の方はもう火の海…トッサに生徒にあわてないよう注意した、ガソリンらしいものを積んだトラックをひきずったので前から二、三番目の客車の下から一時に火がつきたちまち客車は燃えあがった、電柱も焼け倒れ、架線が切れ、枕木も焦げるというほどの猛火だったが、これが一瞬の出来事だった、わたしたちは十日から七泊八日の予定で関西、四国の修学旅行に出かけたのだが、奈良で紫雲丸事件を聞き中止しようかと考えあぐんだ末、事件後二日目に宇高連絡船に乗った帰りにこの事件、幸い怪我人はなかったが、危険極まりない、焼けおちる車をみながらやたらと怒りがこみあげてきた

△同校三年生松本富貴子さん(一七)の話　みんなあわてて立ちあがったのですが、先生から「落ちつきなさい」といわれて静かに列車を降りた、消防車の来るのはとても遅いような気がした

狭い出口で大混乱　生命危篤も出る　柳川のバス火事事件

【福岡発】福岡県大川市川口小学校六年生の修学旅行のバスが柳川市昭代付近で停車中、火を噴き、火だるまとなった事件の際、乗っていた学生五十四名は驚いてわれ先きに飛び出そうとしてあせり、出入口が狭いので思うように逃げられず、重なり合って車内は大混乱となり、このため火傷した重傷者中には避難が遅れて生命危篤のものもでている一方急をきいた父兄らはさきの紫雲丸事件のこともあるだけに驚いて現場にかけつけ、愛児を探し求めて叫び合い大混乱焼けた衣類や水筒などが当事の惨状を物語っている

溝尻藤義運転手(三九)談　非常ドアを開けようとしたが間に合わなかった、この車にはふだん乗っていないのでエンジンの癖が判からず、こんな事故を起して判しわけない

計画を再検討せよ　修学旅行に文部省が通達

文部省は十六日各都道府県教委、知事あてに「現在計画中の修学旅行は再検討すること」という次官通達を出した

通達要旨　一、さきの通達を十分に徹底せしめ、旅行計画樹立にあたっては諸注意事項が確実に守られるよう指導すること
二、学校は修学旅行計画に就てあらかじめ教委の承認を得、教委はとくに児童生徒の安全と健康にムリがないよう検討指導すること、現に計画中の修学旅行について至急再検討すること
三、船車中の安全保持、非常の場合の措置に就て引率教師に十分注意させ、児童生徒にも事前に具体的指導を行うこと

ネオン狂乱

東京アクセサリー ①

アクセサリーといっても麗うゴサンス、イヤリング、ネックレスなどは彼女のアクセサリーだが、大東京にだっていろいろアクセサリーはある、例えてみれば、夜空に明滅するネオンがまずそれであり、最近竣工した羽田のターミナルだってそうだし、きょうから始まった浅草三社祭夏祭りも風俗的にみて東京アクセサリーの範疇に入る、そんな自由な角度からカメラとペンでいろいろ探ってみた

○…何年か前に、仏壇の金具のようなアクセサリーが流行った、御婦人のペチャンコの胸にデンと横たわったキン色の金具はボロ隠しだった、タケノコ生活時代ではオシャレが生命の御婦人たちもまともな服装ができなかったためだった、そして、恋人の金具が大きければ大きいほど、貧しい若者の胸をものを悲しくしめつけるのだった、だから、庶民の生活にゆとりができるとこの〝アクセサリー過多症〟はケロリと治ってしまった

○…するとそのころからビルブームが起り、〝ネオンラッシュ〟が始った、九階建のビルのテッペンに工費三千万円と誇称する地球型のネオンが出現、ものに動ぜぬ銀座マンの度胆を抜くに及んでは、もう猫も杓子もネオン熱にかかってしまった、東京電力の調べによると、件数の統計は出てないが使用電力はざっと二万キロワット、全都内の電燈、電力使用量は夕方のピーク時で百万キロワット、だから、ネオンブームのすさまじさがわかろうというもの

○…仙台のあるミッションスクールの女学生が修学旅行の印象を「東京はネオンの街でした、わたくしたちの脳裏に残っているのはお蔭端の美しさと、対照的なネオンのまたたくあやしい夜の東京の雰囲気でした」で、も、おかしいほどそれはフラグメンタリー(断片的)な記憶でしか残っていません…」と書いていたが、彼女の網膜に残っている印象を写し出してみるとこんな写真にでもなるんだろうか、題して〝東京の幻想〟

【写真は夜の東京を彩るネオン】

宛ら交通不安全週間

事故取調べ中の警官はねる　黒門町　酔払い運転中のモーターバイク

十六日夜九時廿分ごろ台東区黒門町五上野署派出所前の都電安全塔に、わき見運転をして衝突した豊島区雑司ヶ谷町松竹交通鴨井昭一運転手の衝突事故現場を調べていた同署佐藤武夫巡査(三三)は、文京区湯島新花九二医療機械販売業町田昇(四〇)の運転するモーターバイクにはねられ、右足骨折で全治一ヵ月の重傷を負った、町田は相当量酒をのんでいたらしく同署では業務上過失傷害現行で町田を検挙した

発車のバス、坊やを轢き殺す

十七日午前八時廿五分ごろ足立区梅島一三先東武線梅島駅踏切で停車、電車の通過を待っていた越ヶ谷発北千住行東武バス＝運転手鈴木審男さん(二九)＝は発車したとたんバスの前方にいた同町一五二九会社員桜井西蔵さん四男弘ちゃん(五つ)をはね飛ばし、弘ちゃんは近くの病院に収容されたが頭部骨折で間もなく死亡した、西新井署の調べでは弘ちゃんは母親と買物にきて電車を見に母親から離れて踏切に立っていたがバスの真前にいたため運転台から姿がみえなかったもの

安全塔に衝突

十七日午前零時四十分ごろ中央区日本橋室町二の一先都電安全地帯に神田方面からきた台東区黒門町日本橋交…

ふし穴　問屋二号さん

○…「旦那芽生会のメンバーになりませんか会費は三千円で結構楽しめますよ…」と、まるで街頭に立つポンピキが客を誘うような口調で、タクシーの運ちゃんに話しかけられた、組織メンバーは上級会社員、商店の主人、職業婦人、ザーマス的要素をもった未亡人などであり、一種の〝社交機関？〟だというのである、彼らにいわせると財界人の集いに工業倶楽部があるのだから、男女の交際に芽生会があっても何ら不思議ではないとオッシャる、そして観劇、爽やかな青葉を求めてのピクニックにうしなわれた青春を呼び戻すことは、更年期に手の届きそうな方々にとってはマコトに有意義だというのだ、こうした交際の結果意気投合すれば有無相通じるのは生きる本能としてまた止むを得まいとなかなか発展的解釈である、以上は概括的なことで、金三千円也を出さないと倶楽部の場所その他具体的なことは教えられないとのことだったいずれこうした背後にあって糸を操っているのはポンピキの親玉とか援助交際などを考える連中のやることだと想像はつくが、それにしてもなんとなく食指の動く話ではある

×　×　×

○…最近奥伊豆あたりに〝問屋二号〟と称する日陰の女草が咲き話題となっている、月一回奥伊豆の顧客筋を回る問屋サン相手の二号なることは読んで字の如しである、問屋ともなれば多少纏ったお金は持っているもの、そこが問屋二号の狙いであり、旅館などに泊り、旅先の無聊をチビリ一杯やるよりは二号気取りの妾に…といったあんばいでタップリサービスするのだから、雰囲気も手伝い問屋氏はポーッと鼻の下が伸びる訳、但し彼女らにいわせると月一回のお一人さんでは問屋二号商売は成り立たない、そこで鉢合せしないような数名手持にし。お替りすることー

検札に掛った菊地　小金井―雀ノ宮間で姿消す　九時五十分発仙台行車掌が証言

脱獄死刑囚菊地正(二八)の行方を追及中の亀有署捜査本部では十七日朝にいたり、菊地が十一日午後九時五十分上野発仙台行一二三列車に乗っていたことを同列車の専務車掌殿地敏之さん(三二)＝仙台市東九番丁四九＝の証言により確認した、殿地さんの証言によれば同夜十一時卅四分小山駅を発車後検札を始め、小金井駅付近で後部二両目まできたとき便所の傍に立っていた男と「切符は」「ない」「金は」「ない」「どこまで行く」「宇都宮」との問答をしたが、これが手配の菊地に人相風態などそっくりであったという

さらにその男が持っていた一尺四方くらいの風呂敷包みを調べたところ中に白と青の手拭いで編んだ縄梯子が入っていたという、同車掌は不審に思い無賃乗車でもあるのでそこに待たせ、さらに検札をつづけ雀の宮駅付近で終り、とって帰したときはすでに男は姿を消してしまっていたという

捜査本部では殿地さんに菊地の手配写真をみせたところ「この男に間違いない」と断言しているので捜査本部では菊地は同方面に逃走したものとみて警視庁捜査一課付岩田警視を栃木県警本部へ急派、手配写真五十枚を配布、さらに宇都宮に篠原部長以下一班、足利に田中部長以下三班、宇都宮に三班の刑事を派遣、地元署と協力して菊地が立回る可能性のある栗橋、足利、宇都宮を結ぶ三角地帯一帯をしらみつぶしに捜査することになった、これによって菊地の脱獄時間は十一日午後七時前後と六市推定に繰上った

なお、大宮にいる菊地の妹たみ子さんに届いた速達はさる十一日夜東北線小山駅から出されたものであることが確認された

扼殺の疑い濃厚　調布の老婆変死体

さる十五日午後二時ごろ大田区調布嶺町二の七三無職清水とくさん(七七)が自宅便所内で変死していた事件について東調布署で解剖したところ喉の骨が折れていることが判った、とくさんは一人暮しで養子の大田区仲六郷二の九酒屋清水宗二さん(五〇)からの仕送りで生活をしており、恨を受けるような事もなく近所の人にも日ごろ「幸福だ」ともらしていた、現場は物色されたけいせきはないが、胸から下に四つ折りの毛布がきちんとかけられている点から何者かに扼殺したのでないかとの疑もあり同署では捜索を始めた

独眼灯

○…老婆を使うインチキ馬券取次店が挙げられた―警視庁保安課では十六日夕五時ごろ品川区上大崎五の六三一馬券取次目黒速報社ほか、大森の支店三ヵ所を競馬法違反容疑で家宅捜索を行い、責任者山崎嘉太郎(三…)名を逮捕した

○…彼らの手口だが老婆を安い給料で雇い、客から依頼された馬券の捨て屑を拾わせていたことにし、これまで約六百…儲けていた図々しさで、馬ったと思っていたお客こその皮というもの

あすのスポーツ

△プロ野球　東映対毎日ダブルヘッダー(駒沢)国鉄対阪神(七時　後楽園)大洋対巨人ダブルヘッダー(川崎)△東都大学野球　専大、農大対駒大(零時半　神宮)庭球　関東選手権(十時、パ…)△ボクシング　早大対立大、拓大(五時半、日比谷)横四日目(九時、蔵前)△アジアバ…川崎(零時半)△…ボール選手権最終日(四時…館)

夏場所四日目取組

若い女飛込み自殺

【八王子発】十七日午前二時半ごろ中央線上り貨物列車が西八王子―八王子間を進行中八王子市寺町四三先に若い女が飛込み即死した、八王子署で検死したところ同市三崎町一〇飲食店〝一休〟方女給山下美子さん(三五)で情夫と喧嘩、家出していたもの

野方で75坪焼く

十七日午前一時十分ごろ中野区野方町二の一二四三パン屋浦野千寿さん(四四)方から出火、同家平家住宅と二階建店舗、隣家の会社員吉永欽雄さん、同大谷徳司さん方など木造二階建一棟、平屋二棟、二階建店舗一棟計七十五坪を全焼して同一時卅分ごろ鎮火した、浦野さんは消火の際、顔面、両腕などに全治十日間の火傷

デッキから転落即死

【静岡発】十七日午前四時十五分ごろ東海道線下り急行〝伊勢〟の乗客東京都調布市下布田、競輪選手湯舟克巳さん(二八)は同列車が弁天島通過のさいデッキから足をふみはずし線路に転落即死した

続 情炎の千代田城 (119)

岩崎栄 作　寺本忠雄 画

さみだれ(三)

歩きながら、半兵衛は合羽の紐を解いた。

「陽がのぼるといつァ暑くて、邪魔ものでごぜえますな」

右の手で脱ぐと、いきなり、バッと、お静の頭に被せた。

相手方の動揺を、すかさず斬りつけるべく、平地に波瀾を起したのだったが、お静はすこしも動揺を見せず、半兵衛がサッと右に体を開いて、懐中の刀を握ろうとしたとき、合羽をかぶされたまゝに、ツッと左脇に密着して来た。そして片手でしずかに合羽を取り、黙って道に捨てた。しばらくは押し並んで歩いていた。

不意に、今度はお静の方から、

「えいッ」

抜きうちをかけた。

「おッーと。こ、ごじょうだんでげしょう」

さすがに達者な半兵衛だった。道の右の端まで飛んで、くるりと向き直った。とたんに斬り捨てる筈だった。しかしお静は、刀を持ったまゝに、またピタリッと寄り添って行った。

これではなんとしても斬れぬ。旅の町人と、妙な黒装束の侍らしいものとが、いやにピタッとくっつき合って、往来の端を、しかも不思議な早さの足どりで行くのを道中の男女は、首をひねって見送るのだった。

お静が、まるで平静な態度で話しかけた。

「御老中秋元但馬守様御家中でも、名誉の武士と名の高い大川半兵衛さま!」

「……」

「もし、半兵衛さま!」

「へ? 半兵衛さまって、どちらでごぜえますかね」

「こちらさまが、半兵衛さま」

「そ、そりゃ聞こえませぬ半兵衛さんだ。あはゝゝ」

「聞こえませぬならば、おまえはツンボだ。これ半兵衛!」

お静の言葉が俄に、きびしく変って、ジッと横顔をのぞきながら、

「この編笠の、紐の中に、密書の一通が縫い込んである」

半兵衛の眼が、ギロッと、音をたてるばかりに烈しく動いた。

「もう一通は、そのふところの、小脇差の鞘の底にさし込んである」

ゾッとした寒むけが、半兵衛の背骨をつき走った。

「どうじゃ半兵衛! ツンボのくせに、顔の色を変えたではないか」

胃の腑が、まるで石のように硬くなって来た。

「悪の栄えるためしは無い。悪は滅びる悪の手先を働かせるには、惜しい武家だ。二通の密書、おとなしく渡しなさい」

「……」

「出せッ」

というのと、斬りつけるのと同時だった。斬られた――斬ったと見えたその、一髪の間を、半兵衛は鳥のように桑畑へ飛んでしまった。いまをさかりと武蔵野に生いはびこった桑の海へ、半兵衛の体は沈み込んでしまった。沈むともに、これはイタチのように底を駈けて這った。

お静は暫くの間、街道に立ちつくした。桑畑に追って入ることはしなかった。入ったとて、もはや敵の姿を掴むことは出来ない。たとえ出来ても、桑の中での斬り合いは不可能だ、もしもそうした条件で闘ったら、自分は半兵衛の敵でないことを、百も承知している。半兵衛もまた、そのことを考慮に入れていた。だから安心して、ま一文字に、どこまでも這って行った。

その日その時 ⑪

木下恵介

とき 「二十四の瞳」に精魂を使いきって少々くたびれた彼が、世間サマの大き過ぎる期待の裏をかき、こんどは東京都内のオール・ロケで軽い喜劇の「君一人」を撮るという、その準備に忙しいきょうこのごろの朝のひととき…

ところ 歌舞伎座裏、松竹大船の東京基地、ロケ宿のK旅館、その朝も上野駅付近へ未明の三時ロケハンに行き、帰って一寝入りして眼がさめたところ、二階の洋間応接室、階下では「東京―香港蜜月旅行」の野村組が銀座ロケに出かけるところらしく、狭い玄関口に主役の一人有馬稲子はじめ十数人の俳優、スタッフ連がガタガタ

チャンバラが大好き

不可解さが女の魅力

世間サマの期待の裏をかく

(一何) でも田舎での恋人たちの話だそうで「え、好き合った挙句駈落ちして東京に逃げて来るんですよ、ヒデちゃん(高峰秀子)と田村君(高広)の恋人たちがね、田舎ものが大都会に出て来て都会的なものにぶつかると、その度ごとに滑稽な音を発しますね、その可笑味に加えて大都会の生活に対する皮肉味も出せればと思っています」―"二十四の瞳"で小豆島がスッカリ日本新名所の一つになったようですが「ところが紫雲丸事件で行く人がガタンと減ることでしょうね」―昨年"女の園"のロケで姫路城に大変惚れこんで、田宮虎彦原作の"落城"という時代ものを撮るプランがあるとかきゝましたが「えゝ、チャンバラ映画はボク大好きでほんとにやりたいんですが、城を守る武士たちが全員討死してしまう話でしょ、暗いというんで会社がやらせてくれないんですよ、子供のときからチャンバラ映画が好きで好きでそれで映画監督になろうと思ったんですからね、それが撮れなきゃ監督になった甲斐がないというものですよ」

(一女) 嫌いとか聞きますが「いや人間嫌いなんですよ、ボク自身、自分の中に嫌なものを一杯持って持余しているんですから、でも男より女の方が捉え難いですね、男って腹の中に何か持っていても直ぐ判りますよね、ところが女と来たら自分でも意識しない内在的なものが何の脈絡なしにヒョコヒョコ顔を出すでしょ、その一つ一つが女を理解する緒口でもあるしまた誤解する原因にもなるんですからね、でもそういうワケのわからない不可解さが女の魅力というものじゃないですか…」(少くとも"女の魅力"という以上、根っからの"女嫌い"じゃないらしい、ひとつ訊ねてみようか、エイッ―いままで結婚もされない、一人の女を妻として信じ切ることができないという気持になられるには、過去にその重要な動機となった個人的経験をお持ちだからでしょうね「(二、三秒の間)えゝまあそうです」(これだけで十分、あと詳しくは伝記作者に委そう!)―どういうタイプの女がお好きですか「そうね、ボク好きな女優さんというと、いつも東山千栄子さん、岸輝子さん、田村秋子さんなどを持ち出すんですよ、教養のある年配の女性ですね」―嫌いなタイプは「ボクは母性的なものにとても魅力を感じるんです、だからそういうものを意識的に排除しようと努めてるようなインテリ女性とカサカサしたのは大嫌い、そんなのより宿屋の女中さんなんかの方がよっぽど可愛い」―高峰秀子はどういうところが?「ああ、ヒデちゃんとか久我ちゃんとかは可愛いってタイプね、綺麗で優しい女性ならボク誰でも好きだから、アハハ」捉えにくいのは女だけではなさそうである

新劇あらさがし

「ハムレット」 =文学座

○…シェークスピアの原作を福田恆存が現代調に新訳した「ハムレット」はダイジェスト版としての新生面を切り拓くかに思われたが、現在の俳優の力倆と観客のそしゃく力から遊離して所期の目的を達していない、三幕十八場中、ハムレット(芥川)が父王(北村)の亡霊に会い叔父クローディアス(三津田)の悪事を知り、復しゅうを企る第一幕は、亡霊のあつかいも真昼事のように凄みを欠き、悲劇の前兆としてはお粗末すぎる

○…ハムレットが叔父の妃となった母ガートルード(杉村)に対してにくしみと思慕の相剋に悩み、老臣ポローニアス(中村)を刺殺し狂気を装う第二幕は、巧妙に組立てられたセリフにもかゝわらず、現代調の寸足らずの発声と抑揚の不整ですこぶる低調に堕してしまった、この低調さを救うのはオフィリア(文野)の狂乱と入水、終幕のハムレットとリアーティズ(仲谷)との試合における昂揚場面で、こゝでやっと若さが十分活用されている

○…芥川は相変らず神経質すぎて即妙な転換をしきれず、杉村も通り一ぺんで不調、宮口の墓掘りもモタつく、粗っぽいところはあるが三津田と中村がこの公演での本役というところ、装置は河野国夫、東横ホール、廿六日まで (杏)

【写真は芥川と文野】

再映画化 "夢よもう一度"作品

歌舞伎、新派、新国劇といった世界でもいわゆる十八番ものの狂言は何度でもくりかえして上演されているが、近ごろの映画界にも昔の名作、ヒット作を再映画化して"夢よもう一度と"いう作品がきびすを接している、勿論これは変な野心作を作って失敗するよりも、昔から大衆に知られた作品で確実に稼ごうという映画界の消極策には違いないが、さてこれを実際の観客はどう見ているだろうか?作品の展望と一般大衆の声をきいてみる

あばれ獅子千両肌(中村錦之助)

"危げない"のが狙い

観客側にも懐古的な興味

時代物が特に当る

再映画化に一番熱を入れているのは東映で、目下中村錦之助を主役に「あばれ獅子千両肌」すなわち往年の尾上松之助が当り役として製作した「野狐三次」を五十年ぶりで撮っているのを始め「旗本退屈男」「赤穂浪士」「牡丹燈籠」「弥太郎笠」「虚無僧系図」「富士に立つ影」とずらり勢揃いしている

また大映も昭和十三年長谷川一夫が林長二郎から改名した第一作として入江たか子と共演して東宝のヒット作になった「藤十郎の恋」をこんどは長谷川一夫と京マチ子で製作、これがあがると新派の名作「婦系図」を手がける

その点新東宝も同じことで、まず完成されて封切りを待つばかりの「母の曲」は昭和十二年原節子、英百合子、岡譲二の主演により東宝で製作された吉屋信子の原作ものだし、企画中の「次郎物語」「男の花道」はそれぞれ島耕二、マキノ雅弘監督でヒットした日活と東宝の作品である

その他伊藤大輔監督が撮影中途で新国劇の舞台公演のため中絶している「王将一代」白井喬二原作「男一匹」などもまた再映画化の一種である

この種の作品が比較的少いといわれる松竹、東宝、日活でさえ、松竹に松本幸四郎を予定した「荒木又右衛門」東宝に「宮本武蔵」「鞍馬天狗」「夕立の武士」とあるし、日活には「不如帰」「次郎長シリーズ」と続いている、この他独立プロにもその昔松竹蒲田で北村小松脚本、及川道子、高峰秀子主演で製作された「頬を寄すれば」を松山善三の脚色で高峰秀子を主役に再映画化しようという話もある

さてこのように再映画化作品のひしめいている映画界をどうみるか? 一般観客の声を訊いてみると

「昔の映画で見たいのはあるがそれを俳優を変えて現代風に改作したものはあまり見たくない しかしわれわれ年代の者は懐しの映画週間というものに魅力があるから、その意味では荒木又右衛門、忠臣蔵、宮本武蔵など講談ダネはいゝですね」(四十八歳・会社員)

「興味はあります、たとえば娘のころ見た"母の曲"でも原節子のやった役をこんどは誰がどうやるだろうという期待と、その頃の思い出もよみがえりますから良いと思います」(卅三歳・主婦)

「雑誌とか、父母の話で昔の映画を知る以外ないので再映画化だといわれても比較のしようがない、従って松竹の"路傍の石""真実一路"は昔のものがよかったといわれても僕達にはピーンとこない、つまりわれわれには新作と同じことになるわけだ」(廿一歳・学生)

といったもので再映画化企画に対しては格別な意見もないようだ、また一方館主の話では「よく知られたものが再映画化になった場合は興収は平均して廿%増とみて良いようだ、といってこれは時代劇の場合で、現代ものはそうはいかないようだ、それでも再映画化ものは総体的に大ヒットはしないが確実だといえる」(蒲田M興行支配人)と語っている、また「特に時代劇はなまじっかのオリジナルものより再映画化ものの方が骨組がしっかりしていて面白いから、自然そういった企画作品が多くなる」と再映ものの本山、東映のマキノ製作担当重役もいっている

続宮本武蔵・一乗寺決闘(三船敏郎(左)と木暮実千代)

(上)王将一代(左から辰巳柳太郎、田中絹代、木暮実千代)(下)藤十郎の恋(長谷川一夫(左)と京マチ子)

東京演藝場六月中旬に開場

東宝では東京宝塚劇場の五階に目下新装中である劇場名を東京演芸場と正式決定した

おしゃべり横丁

菊地は共産党員だった
クヤシまぎれ
―捜査本部

都々逸 石井きんざ選

金襴緞子を着なくも嬉し あなたと晴れて添えるなら　足立・志のぶ

無理に歸してまくらを抱いて 一人で寝ている意地っ張り　高崎・河野彦三郎

名残りおしさは昨夜の不満 素直に何にも聞けぬ朝　墨田・良坊

金もないのに無理して逢って 世帯じみてる睦まじさ　鎌倉・井口静波

どうにでもされる覚悟で抱かれた体 こんなに乳房が張っている　船橋・今井ちさと

◇

根っ切り葉っ切りもうあと五分 逢う気で待ってる驛の前　選者

はと笛

▽…歌舞伎座では連日、六代目菊五郎と、六代目彦三郎の追善「口上」が行われているが二、三日前のこと菊五郎劇団代表の左団次がうっかり「この度は六世尾上菊五郎と七世? 彦三郎の―」とやってしまった

▽…隣りに座っているホン物の七代目彦三郎、これを聞きながら「げんざい口上に出ている僕を殺すなんて…幽霊のハシリじゃあるまいし」と目を白黒させてプンプン

【写真は坂東彦三郎】

ほとばしる南国の恋

新橋の同伴クラブ「ニューカルメン」

"カルメン"と聞けば、何となく南国の恋を想わせるのは、メリメの小説や映画の影響かも知れぬ。しかし、カルメンはその理由はどうであれ、若い男の情熱を永遠にかきむしる女性の名である。ドン・ホセのように、一生を骨抜きにされてはたまらないが、一夜をこんな女の胸に顔を埋めて、恋を語ってみたら素敵だろう。夢ではない現実に"カルメン"のいるナイト・クラブが東京のド真ン中にあるのだ。

新橋は都電交叉点、ちょっと品川寄りにある「ニュー・カルメン」である。同伴クラブだから、本当は二人で、特に愛人づれで行く所だ。この種クラブの最高を行く設備と雰囲気に、妖しい微笑をたたえ美女の踊りに、或いはタンゴに酔ってフロアに下りれば、二人の心がしっとりと濡れ合う愛の社交場なのである。一人五百円のミニマムチャージでビール二本かカクテル二杯。奥さまづれならその夜のサービスを思って一きわ楽しかろうが、男一人で行けば、それこそ"日本のカルメン"を引き寄せて踊れる夢の天国である。

うまいもの探し

見つけた! 中野の「五万石」

何かうまいものないかいナ。と思って中野の街をブラリとしたら、見つけた一風変った店。中野駅北口美観商店街入口の右側にある「五万石」だ。マスターは有名な社交ダンスの踊り手だが、中年婦人の魅力を代表するようなマダムをみているだけでも楽しい。味の店としてコーヒーは勿論、天丼カレーなど飲物から食事まで気軽に出来る、女店員のA子さん、S子さん、T子さんなど、中野という土地にピタリの山ノ手娘、愛くるしくて親切だ。テレビもあるからちょっと散歩に出たついでにプロレスなど眺めながら食事をすればまるで母と家庭の食膳に向う気分だ。値段も安いし、量もたっぷり。中野というインテリーと学生の多い街で、この珍らしい経営は図に当って連日満員である。

新語紹介

「セントーガール」誕生

スイも甘いもかみ分けた、いわば大人の眼の法楽、全店を覆う上品なエロキューションに満喫して、一杯のコーヒーで自由にネバレる喫茶キャバレー。それが今売出しの目黒上大崎二丁目のトーホー美容室前「目黒セントー」だ。"セントー"の語源はギリシャ神話の半人半馬神にあるというが、チラリ/見えそうな女性のヒップに卒倒して、半人半馬神に乗る、神話そこのけの夢もある喫茶店である。この女性を題して"セントーガール"という。